

授業計画シート（主体的・対話的で深い学び）

| 学部 | 教科等名 | 学習集団 | 単元・題材名 | 総時数（実施時期） | 必要時数（望ましい時期） |
|----|------|------|--------|-----------|--------------|
| | | | | 時間（ ）月 | 時間（ ）月頃 |

| 単元・題材の全体目標 | |
|------------|--|
| 知・技 | |
| 思・判・表 | |
| 学向 | |

| 個人目標・実態目標 | | 児童・生徒名 |
|-----------|--|--------|
| 知・技 | | |
| | | |
| | | |

| 個人目標・実態目標 | | 児童・生徒名 |
|-----------|--|--------|
| 思・判・表 | | |
| | | |
| | | |

| 本単元・題材において働かせる「教科等の見方・考え方」 | 深い学びの姿 |
|----------------------------|--|
| 見方： 考え方： | ① 知識を相互に関連付けてより深く理解する。② 情報を精査して考えを形成する。 ③ 問題を見いだして解決策を考える。④ 思いや考えを基に創造する。 |
| | ① ② ③ ④ |

| 学習指導要領との対応（各教科等の内容） 記入例：【教科名】／内容・〈資質・能力の三つの柱〉・（段階） | 次 | 時数 | 学習活動 | 「深い学び」を実現するための工夫 ※ 番号は上記の深い学びの姿との対応を示す。 | 学習上の特性等 |
|---|---|----|------|--|---------|
| | 一 | | | | |
| | 二 | | | | |

ツール3 授業計画シートの記入内容

各教科等の見方・考え方の記入

※ ツール1や学習指導要領を参考に、単元・題材で児童生徒が働かせる見方・考え方を想定し記入する。

ツール1 【教科等の見方・考え方一覧表】

【学習指導要領】



個人目標・実態目標の記入

- ※ 全体目標を基に、児童生徒の実態に合った教育内容を確認し、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」の目標を設定する。
- ※ 少人数の学習グループの場合は個人目標を記入する。
- ※ 学習グループの人数が多い場合は、児童生徒の実態の近い児童生徒をグループに分け実態目標を設定する。

全体目標の記入

- ※ 選定した教育内容に基づき、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の3観点で目標を記入する。
- ※ 「学びに向かう力・人間性等」の目標は、教育内容として設定してある教科（体育、職業など）以外は、学習グループの実態に応じた段階の教科の目標をベースにして、単元（題材）の目標を設定する。

深い学びの姿の記入

※ ツール2を基に、単元・題材で想定される深い学びの姿を想定し、記入する。

ツール2

【本校の子どもの「深い学び」の姿のイメージ】



各教科等の内容の記入

- ※ 年間指導計画や個別の指導計画、前年までの授業計画シート等で確認した内容を基にして、学習グループの児童生徒の実態に合った教育内容を選定し記入する。
- ※ 複数の学部や段階の教育内容を扱う場合、書ききれないときは、一番高い段階のものを記入する。

資料等

【年間指導計画】



【学習指導要領解説 各教科等編】

【児童生徒の学習ファイル】

【前年までの授業計画シート】(作成している場合)

【個別の指導計画】 など

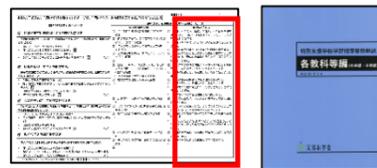
| 授業計画シート (主体的・対話的で深い学び) | | | | | | | |
|------------------------|------|-------|-----|------------|-------------|------------|--|
| 学部 | 教科等名 | 学習集団 | 題材名 | 総時数(実施時期) | 必要時数(望まし時期) | 単元・題材の全体目標 | |
| 高等部 | 美術 | Bグループ | かこう | 12時間(4・5)月 | 時間()月頃 | 知・技 | 人物の体の形の特徴を捉え、鉛筆や水彩絵の具などの用具を工夫して表現することができる。 |
| | | | | | | 思・判・表 | 表現意図を明確にし、得意な表現方法や友達との制作方法を参考に、工夫した表現方法を考えることができる。 |
| | | | | | | 学向 | 自画像の制作に取り組みながら、作品について友達と意見交換することで、表現活動の喜びを味わい主体的に活動することができる。 |
| | | | | | | 実態目標 | 表現意図を明確にし、得意な表現方法や友達との制作方法を参考に、工夫した表現方法を考えることができる。 |
| | | | | | | 児童・生徒名 | 児童・生徒名 |
| | | | | | | 知・技 | 人物の体の形の特徴に気付き、鉛筆や水彩絵の具などの用具の使用方法を工夫して表現することができる。 |
| | | | | | | 思・判・表 | 人物の体の形の特徴を捉え、鉛筆や水彩絵の具などの用具を用いて表現することができる。 |
| | | | | | | 学向 | 人物の体の形の特徴に気付き、鉛筆や水彩絵の具などの用具の基本的な表現方法で表現することができる。 |
| | | | | | | 実態目標 | 人物の体の形の特徴に気付き、鉛筆や水彩絵の具などの用具の基本的な表現方法で表現することができる。 |
| | | | | | | 児童・生徒名 | 児童・生徒名 |
| | | | | | | 知・技 | 人物の体の形の特徴に気付き、鉛筆や水彩絵の具などの用具の基本的な表現方法で表現することができる。 |
| | | | | | | 思・判・表 | 人物の体の形の特徴を捉え、鉛筆や水彩絵の具などの用具を用いて表現することができる。 |
| | | | | | | 学向 | 人物の体の形の特徴に気付き、鉛筆や水彩絵の具などの用具の基本的な表現方法で表現することができる。 |
| | | | | | | 実態目標 | 人物の体の形の特徴に気付き、鉛筆や水彩絵の具などの用具の基本的な表現方法で表現することができる。 |
| | | | | | | 児童・生徒名 | 児童・生徒名 |
| | | | | | | 知・技 | 人物の体の形の特徴に気付き、鉛筆や水彩絵の具などの用具の基本的な表現方法で表現することができる。 |
| | | | | | | 思・判・表 | 人物の体の形の特徴を捉え、鉛筆や水彩絵の具などの用具を用いて表現することができる。 |
| | | | | | | 学向 | 人物の体の形の特徴に気付き、鉛筆や水彩絵の具などの用具の基本的な表現方法で表現することができる。 |
| | | | | | | 実態目標 | 人物の体の形の特徴に気付き、鉛筆や水彩絵の具などの用具の基本的な表現方法で表現することができる。 |
| | | | | | | 児童・生徒名 | 児童・生徒名 |

学習活動と「深い学び」を実現するための工夫の記入

- ※ 学習上の特性等とツール2を参考にして記入する。
- ※ 「深い学び」の姿との対応を①～④の番号で示す。「深い学び」の姿と対応しない指導及び支援上の留意点は、・で示す。
- ※ ツール2で活用した内容にチェックを入れる。資料には記載されていない新たな工夫を取り入れた際は、チェックボックス横の空欄部分に記入し、チェックを入れる。

ツール2 【「深い学び」を実現するために有効だった工夫】

資料等 【学習指導要領】



学習上の特性の記入

- ※ 学習集団の児童生徒の学びの特性(学習上の課題や有効な学び方など)を記入する。

資料等

【個別の指導計画】

【個別の教育支援計画】



学習活動の記入

- ※ 目標を達成するために必要な学習活動を設定し記入する。
- ※ ツール2も参考にし、新たな活動を取り入れた場合は、チェックボックス横の空欄部分に記入し、チェックを入れる。

ツール2

【「深い学び」を実現するために有効だった工夫】

